

令和5年度 第1回小淵沢地域委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年5月10日(水)
午後7時00分開会～午後8時40分閉会
- 2 開催場所 生涯学習センターこぶちさわ 軽運動場
- 3 出席委員 中山宏樹、細野勉、進藤幸夫、宮沢裕夫、宮沢俊彦、
栗田朱美、岩波光代、藤代富美男、今井一夫、茅野秀明、
佐野恭子、深澤久、金丸哲也、坂本秀樹
- 4 欠席委員 三井典子、清水俊一
- 5 事務局員 小淵沢総合支所長 皆川 賢也
地域市民課長 宮川 勉
地域市民課市民担当 坂本 誠
地域市民課市民担当 鶴丸 唯也
- 6 議 題 (1) 小淵沢地域委員会予算使途提案事業計画について

(2) その他
- 7 公開・非公開の別 公開 ・ 非公開
- 8 傍聴人数 0人
- 9 署 名 署名委員 1番 _____
署名委員 2番 _____

- 1 開会
- 2 小淵沢総合支所長あいさつ
- 3 地域委員及び職員紹介
- 4 役員選出（会長及び副会長）

（事務局）

本日は正副会長を選任していただきたいと思います。こちらにつきまして、北杜市地域委員会設置条例の第7条におきまして、会長副会長は委員の互選により定めるとなっております。選考方法につきましてお諮りいたしますが、いかがいたしましょうか？

（委員）

組織的に最後の任期になると聞いているので、前会長である進藤幸夫委員に引き続きお願いできればと思っております。

（事務局）

進藤幸夫さんが、会長推薦をいただきました。皆さん他にご意見はございますか。なければ、拍手をもって承認していただきたいと思います。賛成多数と認めましたので、決定とします。

引き続きまして、副会長についてご意見ありますか。

（委員）

女性の声もいいのではと思ひ、本日欠席ではありますが、三井典子さんがいかがかなと思います。

（事務局）

本日欠席ではありますが三井委員が副会長という案が提案されました。まず皆様のご意見の方をお伺いしたいと思います。副会長について三井典子さんに決定ということよろしいでしょうか。拍手をもってご承認をお願いいたします。

それでは皆さんからご承認を得ました。本日欠席でありますので、明日、ご説明をしてお願いさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは確認でございますが、会長につきましては名簿の3番の進藤幸夫さん。副会長につきましては6番の三井典子さんをお願いしたいと思います。

5 会長あいさつ

進藤幸夫会長からあいさつ

6 議題

北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定により、会長が議長を務め議事進行。

(会長)

それでは議事を進めたいと思います。

まず、この会議は北杜市審議会等会議の公開に関する要綱第2条公開の原則に基づいて開催されています。

本日の議事内容については、非公開情報は含まれておりませんので、公開といたします。よろしくお願いたします。傍聴人はいませんので、このまま会議を進めさせていただきます。

まず初めに、議事録署名人を順番にお願いしていきますのでよろしくお願いたします。1番中山宏樹委員、2番細野勉委員お願いたします。よろしくお願いたします。

なお、質問意見につきましては議題ごとにお受けいたしますので、よろしくお願いたします。

(1) 小淵沢地域委員会予算使途提案事業計画について

(事務局)

資料に基づき説明。

(委員)

総括表の12番、14番、16番というのは非常に似た名前の事業ですが、12番と14番の違いと、16番はなぜなくなったかという2点をご説明いただければと思います。

(事務局)

まず12番の地域活性化活動支援事業につきまして、区が主催する地域活動で、人づくり、地域づくり、健康づくりを推進するような事業につきまして、各行政区に対して補助しているような事業であり、区が行う活動に対して補助するものになります。

次に14番の地域活性化検討事業について、こちらは地域委員会で行う研修等を行うものであり、16万円のうち、大きいところでいくと地域委員会だよりの発行にかかわるものです。

16番の地域活動提案事業15万円で決算額0円でした。この予算は柔軟に対応できるような研修や予備的な予算でしたが、令和4年度につきましては実績がありませんでした。

(委員)

16番は実績がなかったが予備的なのという話があり、令和5年度の予算には組み入れないという理由は何かありますか。

(事務局)

11月の令和5年度に向けた事業計画の策定の際に説明がされて予算化しなかったということですが、活動実績がなかったことと、事業実施主体がその時点で定まっていない状態で予算化されなかったということです。

(委員)

昨年度、予算800万円を使用し、今年は1,200万円が予算となっているが、例えばホースショーで予算の半分程度を使っています。これについて、予算の在り方においてあり得るのか。

また、防災関係で、例えば融雪剤を各地区に配布していますが、あれは地域委員会予算から出ているのか。

(事務局)

まず融雪剤ですが、13番災害の対策事業から昨年は70体程度を購入しています。

続いて、ホースショーについて、予算のうちの多くを占めているところですが、昨年の11月の地域委員会において、地域委員の皆様にご承認いただいているところです。

(委員)

予算については、各団体からの希望ということですが、地域の方たちへの周知はどういった形で行っているのかお聞きしたいと思います。

(事務局)

地域委員会の補助の内容については、広報誌を全戸配布して、ご説明をさせていただいております。

(委員)

今これは議決事項の予算を決める場なのか、もう決定している予算に対して協議する場なのか分かりません。

予算は予算通り使うということが目的ではなく、新たな提案や見直しをして、一番はどうやって地域を活性化するかということが、我々委員に与えられた役割であり、それを協議するということは、例えば、地域活動提案事業の予算15万円が予算全体の1%程度にもかかわらず0円になるというのはいかがなものかなと思います。

それから会長が視察をということですが、今こんな時代ですから、必ずしも足を運んで旅費をつけてお金をかけなくたって、各地域の視察について情報収集するのはいかようにもやり方はあると思います。行政側の答弁を聞く限り、目的と隔たりがあるのではないかと感じます。

(事務局)

まず1点目の決定事項かどうか、これについては昨年の11月に決定しております。今回の地域委員会では、新委員ですので報告事項となります。

次に予算の配分についてですが、予定ではありますが11月頃に令和6年度の予算についての検討をお願いしたいと考えています。令和5年度予算は決定しておりますので、審査につきましては、令和6年度予算の際にご審議をよろしくお願いいたします。

その中で研修や地域を活性化するというご意見がありました。そういった意見をこの場でとり入れた中で、小淵沢の発展のために活動をしていただければと考えております。

(委員)

11番の駅活性化活動事業について、これについては実施主体が未定ということで、これはどういった見通しなのか、昨年の会議では、この実施

に当たっては、地域委員会を開いた方がいいのではないかというご意見もあったような気がしましたが、実施主体がどこになるのか伺いたい。

(委員)

実施主体については、北杜市観光協会です。内容は、花壇の整備、馬のモニュメントの修繕、冬にイルミネーションを設置する予定です。

(委員)

先日地域委員会だよりが発行されましたが、小淵沢も他の町の広報を参考にしたり、もう少し工夫してみてもいいのではと感じます。

(委員)

他の町の地域委員会だよりを見ると、地域委員会の中に広報委員会があって、そこで広報を発行しているところもあるようです。他の町の様子を聞いて参考にしてみるのもいいのではないかと思います。

(会長)

議題(1)について、令和5年度は計画のとおり執行するというので、一区切りとしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

(2) その他

(会長)

続いて議題(2)その他に入りますが、一つ提案があります。今までの小淵沢地域委員会では、行政で申請があったものを審査して、それに対して地域委員が判断をするというものでしたが、先ほど話があったように、例えば予算審議委員、広報委員会など委員の方々を担当に分けて検討するというようにしなければ、今までは行政に任せていたので、広報も毎年同じようなものになっていました。それがいい悪いではないが、今年度はそういった委員会を作成して地域委員を運営していきたいと考えています。

ただ、どういった委員会を作成するのかということから協議しなければいけないため、出労の機会が増え、委員の皆様にはご足労をおかけすることになります。

このことを踏まえて、委員会を作ることについてご意見をお伺ひしたいと思います。

(委員)

新地域委員の皆様への資料の具体的活動内容 2 番目「市が処理する事務に関する事項について、市長に意見を述べること。」について気になりました。民生委員というのは皆さんもご存知の通り、各町の中の各地区単位にそれぞれ 1 人から 3 人の民生児童委員が選任されて、厚労省から任命されます。民生委員は、地域の中で困っている方の困りごとを聞き入れて、行政の立場から支援できることがあれば、そのことを民生委員が行政に進言して、対策や助成はないかお願いして、その方を助けてあげるっていう繋ぎの役目をしなさいということと言われてやってきました。

実は私事ではありますが母親が高齢で、介護サービスについてご説明をしていただきました。説明を受けて一番困ったことは、申請を受けてから判定をするのに 3 ヶ月かかると言われました。高齢者の場合、現状維持を続けていくのはかなり難しい。その中で 3 ヶ月待つのは結構厳しいのではないかと思います。そういったことを言われて、行政がやろうしているサービスの目的は何なのか考えて欲しいと思えました。3 ヶ月掛けるような仕事かと感じました。これは一例で言わせていただいております。要は、市役所の方がやる目的の一番重要なことは、その地域に住む住民のためであり、住民のためのサービスです。そのサービスをするのは、やはりこれはお金も必要ですがスピード感が必要です。今、介護のことだけを言いましたが、他の場所でも起きているのではないかと思います。要するに行政と一緒に繋がってサービスを受けたいと思って、何かをやろうとしているときに、先ほどお金の話ではないですけど、いろいろ審議あつたりしてかなり時間かかってしまいます。我慢できる範疇について考えていただきたいなと思います。

市長に意見を述べることに戻りますが、行政の事務処理や仕事のやり方、住民にとってはこういったことが一番重要であると思います。地域の住民が一番関わりたいのは、はっきり言って、ホースショーでもなく、日々の中の行政のやらなければいけないところで、安心して話ができて、そのことについてすぐ回答が返ってくるということが一番重要だと感じます。

会長から委員会を作りたいと話がありましたので、この事を検討する委員会をぜひ作っていただきたい。

(委員)

先ほど具体的活動内容ということで4項目出ていましたが、地域委員会は予算を決定することに傾注されていて、他の活動ができていません。心配しているのは、地域委員会を発展的解消し新たな組織体を作ると言っていますが、地域のことを本当に考えているのか心配になります。区長が主体となって組織を作ると聞きましたが、区長は仕事が多忙であり、これからさらに仕事が増えるとなると大変な思いをするような形になります。この地域委員会が継続することができないなら、それに代わる、要するに地域の課題を取り上げて、協議できる場を作っていくことが大事じゃないかと思っております。

(委員)

地域委員会のあり方については、前々から疑問を持っていました。地域の意見をあまり吸い上げられていないように感じます。これからの方法としては地域の方から地域委員会に取り上げてほしいテーマを吸い上げて、それについて委員会や会議を行うようにすることがいいと思います。

(委員)

たくさん課題がありますが、根本的に地域委員会をどうするかということがずっと懸案でありましたが、あまり解決されず議論が十分じゃなかったと感じます。もう一つは、この地域委員会が、他の組織に変わるという情報がある中で、まず会長から委員会を作ろうっていうような意見がありましたので、吸い上げた各種事例を検討する委員会を作るといい考えだと思います。地域委員会がなくなる中でそれをいつまでできるのかということも課題ではありますが、課題を集約するのにアンケートか何かを集めて、優先順位を付けなくてはいけないことが一番の難題だと感じました。

(会長)

今までの話から課題はありますが、やはり意見を出し合える場を作ることがまず大事だと思います。このままだと話が進まないため、日程を含めて地域委員会のあり方について今後どうするか、少人数でも委員会を開いて検討したいと思います。

(委員)

今までの地域委員会は、形式的な会議でしかなく、本来地域の声を行政側に上げるため委員会としてあるべきだと思うが、地域委員がなくなる話が出ているのに、地域委員会の在り方を話し合っても結論は出せないと感じます。委員の方はすごく積極的で、地域委員会がなくなる方針に反対の方もいると思います。ですので、支所から市に対してこういった意見もあるということ責任をもって声を上げていただきたいと思います。その上で、小淵沢地域委員会でも個別でどう取り組んでいくのか考えてみる必要があると思います。

(会長)

市と話をして地域委員会が他の組織に代わっても、地域で検討する会としてやっていくことについて提案を出しています。なので、地域委員会の現状の組織のあり方についても検討の一つかなとは思っております。なくなるものを検討しても仕方がないということではなく、新しく小淵沢のためになる地域委員会に代わるものを検討していくということを考えております。以上のことを踏まえて、少人数でも検討する会を開催したいと思っておりますがよろしいでしょうか。皆さんからご意見いただきましたので、何とか進めていきたいと思っておりますので、ご協力お願いしたいと思います。

(委員)

本来ならば事前に情報や資料が配布されて、それをしっかりと考えてきて、そこで意見を出して、効率良く有効的な会議をするべきだと思います。今回は第1回ということもあり、課題も多くあったので難しかったかもしれませんが、そういった会議をしていただきたいと思います。委員会でも全体の進め方と、地域委員会は市長の諮問機関だけではないということもしっかり検討していきたいと思っております。

(会長)

たくさん意見を出していただいて、しっかりと論議ができたなと思えます。お手数をおかけすることもあると思いますが、小淵沢が良くなるような体制を作りたいと思っております。2年間の付き合いをとりませんが、よろしく申し上げます。

7 閉会

閉会時間 午後 8 時 4 0 分